

# 子どもたちに「思い出」と「故郷」をつくりたい

【子】

どもたちには将来、「私の故郷は帯西！」と言っても

『できた時にできたし』  
『継続の秘けつは』

2代目隊長の安楽さんは、会発当初からのメンバー。わが子の卒業後も精力的に活動を続けています。「約40人の隊員が持つ特技や経験を生かし、子どもたちのために『防災キャンプ』や『藻器堀(しょうけほり)川探検』などを行っています」。PTAや自治会では実施が難しい企画を、自身の仕事(営業で培った人脈やフットワークの軽さで実現させ、学校や地域からの信頼を得ています。

【来】 年4月で創立40周年を迎える中央区の帯山西小学校。市内では比較的歴史の浅い小学校で、校区内に寺社などがないため、伝統行事が少ない地域でもあります。そんな帯山西校区で、同小の現役のPTA役員や保護者のほか、PTAの「OB・OG」なども加わって地域活動を展開しているのが「帯西応援隊」です。2004年に同隊の前身、「おやじの会」研究会が発足。翌年、母親や地域の方々も参加できるようにと現在の名称に変更し、本格的に始動しました。

## 地域担当職員からひと言

帯山西校区は、「帯西応援隊」を中心に若い世代が活動的で、子どもたちのために地域を支え、盛り上げようと頑張っています。「地域活動=苦役」ではなく、楽しみながら活動される姿は、子どもたちの目にもカッコよく映っています！

中央区まちづくりセンター  
参事 田端 歩



「帯西まつり」で出店する焼きそばは、今や地域の名物に

「隊員自身が楽しみながら活動する」のがモットーです。子ども卒業とともに地域との関わりが希薄になりがちな中、PTAと自治会のはざまの世代が地域活動に積極的に関わることで、コミュニティの現在と未来をつないでいます。

人と地域と行政をつなぐ 週刊マガジン

# まち・ひと つながる



熊本市まちづくりセンター通信 vol.4

熊本市内各校区で、まちづくりに関わり、地域の活性化のために頑張っている人たちを紹介します。



帯西応援隊 隊長 あんらく 安楽真一さん(49)

お問い合わせ

- 熊本市地域政策課 ☎096(328)2031(月~金曜・8:30~17:15)  
chiikiseisaku@city.kumamoto.lg.jp
- 中央区まちづくりセンター ☎096(328)2232



「まち・ひと・つながる」の紙面への感想をはじめ、まちづくりに関するアイデア、相談など左記にお寄せください。